



#好きがコトひらく町

それぞれの温めてきた想いが少しづつ開いていく場所

金刀比羅宮のお膝元、琴平町は香川県随一の観光地でありながら、田園風景や商業地域も広がる特色豊かな町です。



1年に1度神様が下りてくる
神事場



マスコットキャラクター
こんぴーくん



商業地域



お店が連なる
こんぴらさんの表参道



田園地帯



循環し継続していく社会へ

琴平町で、平飼いの養鶏と農薬を使わない野菜栽培をし、直販している山下農場。

1998年から2019年まで継続して年に一度の「れんげ畠祭り」を開催し、幼い子どもから若者、年配まで多くの世代を巻き込んで大きな渦を作っていました。

食は生きることの基本です。安全さはもちろんのこと、活き活きと元気な命を育むための、山下さんの取り組みに多くの人が共感しています。

コロナ禍を経て、都会から若者が訪れる新しい流れも始まりました。1人でも多く若い世代に、山下さんが培ってきたノウハウを引き継いで豊かな未来を創造していくのが、山下さんの今後の目標です。

農家

山下進さん

[山下さんのある日]

6:00 動物のエサやり、畠に水やり

農場には、
やぎやウサギ、
羊もいます。



13:00 ラジオ収録

インタビューを受ける
農業に対する熱い想いと、地域の今後の発展についての話は尽きず。



16:00 畠を貸している若者が集まってピザパーティースタート！

Profile
琴平で生まれ育ち、
就職し九州へ。
その後Uターンし、代々
受け継いできた土地で農業を続けている。



世代も職業も違う仲間が集い語り合い、
とってもハートフルな時間になりました。



美味しいコーヒーを淹れ
ドーナツを作る
白鳥さくらさん



人に囲まれて生きる幸せ

生まれ育った琴平町では、町の行事やイベントがたくさんあります。石段マラソンや町民体育祭、こんぴら歌舞伎など、中学校からみんなで参加してきました。白鳥さんは、大学へ進学後、神戸や東京も生活しましたが、都会の生活はいずれも地域との繋がりが薄く寂しく感じたそうです。

県外に出たからこそ、香川と琴平の地域の繋がりや人の温かさを再認識することができました。

今は、琴平に戻ってきて坂出の喫茶店で働いています。将来は、手作りドーナツとコーヒーを出すお店を持ちたいと考えていて、今は準備中とのこと。

琴平をはじめ近隣の地域で、店舗を探しています。

Profile

琴平で生まれ育ち、
神戸、東京で暮らした後
Uターン。



[白鳥さんのある日]

10月10日の例大祭に出店し
ドーナツとコーヒーを販売しました。



朝から仕込みに大忙し。
栗の渋川煮と餡子作りは何日も前から準備を始めてます。
「手がかかるけれど、作っているうちに栗や小豆がかわいく思えてきて苦じやなくなるんです。」
と、にこやかに話す白鳥さん。

愛情をもって作り上げたドーナツたちは、素材の味がしつかり残り、自然な甘みが優しく感じられます。

15:00
オープン直前
ドキドキ

「お客様、来てくれるかなぁ」



予想以上にお客様がたくさんお越しになり、
おひとりさま一個の制限を付けて販売することに。

コーヒーも心を込めて丁寧に淹れていきます。
「美味しいなあれ」

テクニックも大事だけど気持ちも大切だと、今勤めている喫茶店のオーナーから教わったことをいつも忘れません。

19:00 完売！

売れたことはもちろん嬉しかったのですが、
その後に「美味しいかった」とたくさんの方から声をかけていただいたことが、もっと嬉しかったです。

家族や友達がたくさんのお友達を連れてきてくれたことも幸せでした。



Kotohira

琴平で暮らす人

▶ 03



子ども時代に良い思い出を

「地元に対する愛着って、そこでどれだけの思い出があるかだと思うんです。」そう語るのは、琴平町で子育て応援グループ「415（よいこ）のわ」を主催している吉田さん。

子どもの頃は、琴平町でたくさんの友達と大人に見守られて育ったという。だからこそ人一倍、琴平町の人の温かさに信頼をおいています。

自分と同じように子ども達もたくさんの楽しい経験をして、愛情をたっぷり受け取って育ってほしいのです。その経験が、子どもたちの未来の力の源泉になると信じて、琴平町のお母さんや世代を超えてたくさんの方々と手を取り合って頑張っています。

Profile

Uターンで生まれ育った琴平町に戻り、2人の子育て中。



[吉田さんのある日]

琴平町の公会堂で開かれたハロウィンパーティー

何日も前から、準備で大忙し。モノづくりが好きなメンバーは、たくさんの子ども達が楽しめるものを用意しました。

吉田さんやメンバーのお子さんたちも、ここで仲間と共に育ち、大きくなつて運営準備に携わっています。



9:00
琴平町公会堂で
準備スタート！

12時になつても準備は続きました。
ラストスパート1時間前！



13:00 開場！
町内外の子ども達も、揃って仮装して現れました。
みんな成りきっている！



大人も子どもも一緒にになって楽しみ、
大盛況に終りました。



地域の中で孤立する親子がいないよう、居場所づくりを心掛けている「415のわ」。
ママ同士の繋がりや親子でゆっくりできる
「ママカフェ」も開催しています。コロナ禍でしばらく控えられていたのですが、この日復活しました。
今後も引き続き実施していく予定です。



琴平でやりたいことを見つけた

上野さんは、子どもの頃から絵を描くのが好きで、学校卒業後は数多くのイベントに出張し、似顔絵を描いてきました。似顔絵を通じてたくさんの人と繋がることができたこの経験を活かし、「上の香屋」でも店の運営の傍らで、お客様にも似顔絵を提供してきました。そんな中、ひょんなことからKAGAWANI（かがわに）というキャラクターが生まれます。今、そのキャラクターを知ってもらうこと、グッズを手に取ってもらうことが楽しくて仕方がない。ゆくゆくはカガワニファクトリー（工房）を作って手作りのキャラクターグッズを作るのが夢です。

「上の香屋」店主 上野隆史さん

キャラクターを広めたい！

Profile

兵庫県からの1ターン。
こんびらさんの100段目で、「上の香屋」というお香の店を経営。



[上野さんのある日]

11:00 「上の香屋」オープン

こんびらさんの石段にシャッターが開く音が響きます。店内から石段の景色を見ていると、歴史のある街並みに、時を超えた人々の営みが想像され、悠久の時を感じさせられます。

こんびらさんにお店を持つことができた、奇跡とご縁ありがとうございます！



13:00 昼食

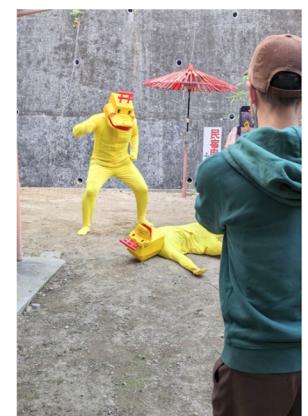
今日は知人が遊びに来るので

店舗奥のギャラリースペースで、手作りの鶏飯を振舞うこと



15:00 SNS投稿

InstagramやYouTubeに取り組んでいて、仲間3人と試行錯誤してKAGAWANIの宣伝活動に励む。



21:00 創作活動

お店を閉めたあとは、あれやこれやと思案しながら手を動かします。芸術家肌の上野さんは、この時間が一番夢中になれて、充実している時間だそう。

琴平の歴史文化



金刀比羅宮のお膝元

年に一度10月10日に、金刀比羅宮のご本宮から大神様が、門前町にお下がりになる例大祭があります。平安絵巻さながらの大行列は荘厳な美しさを放ち圧巻です。

10月1日2日には、氏子祭りである「ちょうさ祭り」が賑やかに執り行われます。琴平町には、文化歴史を感じられる建物も多数あります。

国の重要文化財に指定されている「旧金毘羅大芝居（通称：金丸座）」では、毎年歌舞伎の公演が開かれます。町中にある絵看板は、琴平町で刻まれた歌舞伎の歴史を物語っているようです。琴平町で、何気なく目にする風景には、歴史文化が色濃く刻まれています。



琴平の自然



サンコウチョウ



ムササビ



ミンミンゼミ



ハンミョウ



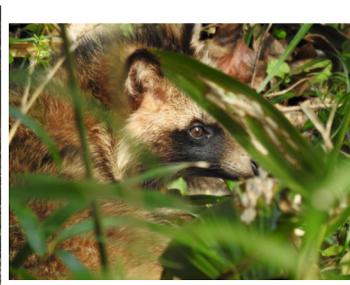
ニホンアカガエル



マムシ



ニホンノウサギ



タヌキ



ジョウビタキ (メス)



クロジ



コゲラ



オオルリ



アオゲラ

琴平山はムササビの住む鎮守の森

人の手が入って、人が暮らしやすいように手入れされている野山は「里山」と呼ばれます。その対極にあるのが、琴平山。手つかずの自然が残っており、ムササビをはじめ多くの動植物の生存している地域です。

江戸時代には、山の木が大量に切られて燃料に使われていました。多くの香川の山が丸裸になっていく中、琴平山は金刀比羅宮の神聖なエリアとして守られてきました。それにより森は手つかずのまま進化を続けていき、動植物の多様性が残りました。

いわば、ガラパゴス化した生物の宝庫が、琴平山なのです。



写真提供：
ネイチャーガイド
山崎智久さん



雪待草



ウワミズザクラ



カゴノキ